

令和7年度室内春季ダブルス団体戦

競技部
担当:小野 博

期 日 令和8年3月24日(火) 9:00~17:00
 会 場 シェルコムせんだい(オムニコート6面)
 参加人数 90名(女子41名、男子49名)
 試合方法 参加者を4組(Aチーム・Bチーム・Cチーム・Dチーム)に分け、対抗戦による団体戦として行いました。男女参加者数の違いにより、1対戦の内容は「女子ダブルス(5)・男子ダブルス(7)・混合ダブルス(6)」の全18試合としました。
 試合は4ゲーム先取、ノード方式、1試合18分の時間制限の試合形式としました。
 参加者多数、一人当たりの試合数を4~5試合とするため18分制限とした。

[大会の結果]

	Aチーム	Bチーム	Cチーム	Dチーム	勝 敗	順 位
Aチーム		6-10	10-6	11-5	2勝1敗	2
Bチーム	10-6		8-9	8-7	2勝1敗	3
Cチーム	6-10	9-8		10-6	2勝1敗	1
Dチーム	5-11	7-8	6-10		0勝3敗	4

(*引分数は計上していません)

※2勝1敗が3チームとなったため大会要項により、ジャンケンで順位決定しました。



優 勝

準優勝

寸 評 全体の試合結果を見ると4ゲーム先取で決着した試合は、全試合数108試合中39試合(36%)であった。試合数を優先したため致し方ない処置であったが、満足感が得られなかった方も多かったのかも知れない。運営上としては、ドロー作成後の前日欠席1名、当日欠席が1名、途中退席者が数名あり、各チームのリーダーにより対応して頂いたが、ドロー上の対応の難しさを痛感した。また、試合進行の掲示方法と掲示内容の説明について、改善の必要があると感じた。掲示物の文字は大きな文字で、試合進行表の見方を開会式で懇切丁寧な説明が必要と感じた。参加者、各チームのリーダー、役員の皆さんの協力頂き、大きな混乱もなく大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。

チーム編成

No.	Aチーム 名前	No.	Bチーム 名前	No.	Cチーム 名前	No.	Dチーム 名前
A1	三澤 智子	B1	中武 智子	C1	山根 綾子	D1	相馬 由美子
A2	安藤 伸子	B2	庄司 清子	C2	中川 和子	D2	木村 むつ子
A3	赤間 静子	B3	川口 桃代	C3	野村 孝子	D3	佐藤 あけみ
A4	山本 むね子	B4	堀川 幸子	C4	菅原 玲子	D4	佐々木 文子
A5	高橋 美智子	B5	佐藤 茂子	C5	光本 きよ子	D5	小林 明美
A6	高橋 敦子	B6	長谷山 真姫子	C6	大場 愉里	D6	山田 よし子
A7	小野 洋子	B7	瀧澤 厚子	C7	神尾 順子	D7	大平 純子
A8	真砂 恵美子	B8	秋葉 洋子	C8	花淵 真紀	D8	長田 みどり
A9	赤澤 康子	B9	丸山 典子	C9	畠山 千春	D9	原 とも子
A10	日下 直子	B10	佐々木 美由紀	C10	石島 弘恵	D10	相澤 歩
A11	林 陽子	B11	大友 真紀	C11		D11	
a1	和久 哲哉	b1	萩川 正	c1	長洞 和夫	d1	安彦 滋喜
a2	伊東 清志	b2	渡邊 貞夫	c2	保志 則行	d2	池田 千里
a3	松浦 真	b3	八重樫 和明	c3	高橋 捷夫	d3	沼田 勇雄
a4	冨塚 栄一	b4	小原 和夫	c4	石森 浩一	d4	千葉 哲郎
a5	伊藤 武美	b5	白石 栄	c5	齋藤 寛二	d5	清海 誠一
a6	松下 末廣	b6	菅原 信之	c6	庄司 英一	d6	梅村 晋一郎
a7	三品 隆夫	b7	稲村 隆夫	c7	大山 政典	d7	菊地 則行
a8	針生 康寛	b8	加藤 和行	c8	木綿 康雄	d8	菅原 良司
a9	鈴木 均	b9	佐野 裕治	c9	黒澤 仁一	d9	高橋 繁志
a10	小林 久人	b10	間野 俊彦	c10	小野 博	d10	漆畑 徹
a11	佐々木 宏	b11	菅野 公正	c11	佐藤 明	d11	鈴木 善昭
a12	大竹 宏毅	b12	畠山 満	c12	松浦 弘	d12	森 幹洋
a13	畠山 仁	b13	安藤 康英	c13		d13	



令和7年度総会

